

進路通信 1 年 vol.2

令和 4 年 5 月 31 日

進路指導室

4 月に実施したスタディサポートの結果が返ってきましたので、その分析をしていきたいと思います。

学力 GTZ 77 期生の平均は「B2」

A 1	難関大挑戦レベル	大阪公立・京都府立・神戸市外・北海道	明治・青山学院・立教・中央・東京理
A 2	国公立・中堅私立大合格レベル	兵庫県立・岡山・滋賀・広島・京都工芸繊維	関西・立命館・関西学院・京都女子・京都薬
A 3	国公立・中堅私立大合格レベル	和歌山・滋賀県立・徳島・鳥取・香川	龍谷・武庫川女子・同志社女子・大阪医薬
B 1	国公立・中堅私立大挑戦レベル	琉球・岡山県立・福井・高知工科・下関市立	近畿・甲南・京都産業・京都橘・関西外
B 2	国公立・中堅私立大挑戦レベル	公立鳥取環境・新見公立・名桜・室蘭工	摂南・大阪工・甲南女子・大和・大阪体育
B 3	4 年制大挑戦レベル	－	神戸学院・追手門学院・桃山学院・大谷

大阪公立大を目指すなら「A1」、地方国公立や関関同立（同志社除く）を目指すなら「A2」、産近甲龍でも「B1」の学力が必要です。関大や近大は阿倍高生が目標とする代表的な大学（実際の入学も 50 人に上ります）ですので、もう少し努力が必要と言えそうです。

学力・学習習慣バランス タイプ①が最多。油断禁物！

今回	2022年度1年生第1回	
タイプ1 学習「要注意」型	タイプ3 高校生スタート「順調」型	
96人(34.2%)	59人(21.0%)	
タイプ2 高校生スタイル「要確立」型	タイプ4 学習「要認識チェック」型	
81人(28.8%)	45人(16.0%)	

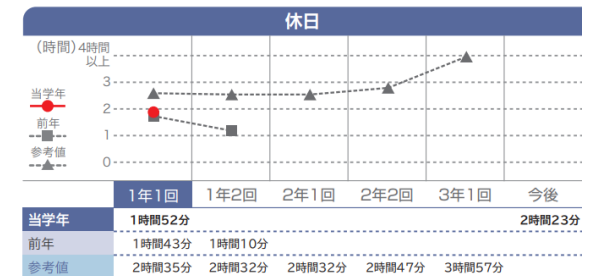
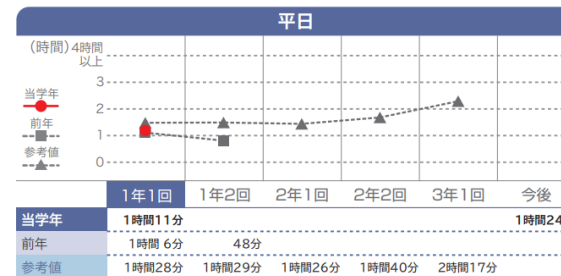
右の図は、横軸に学習習慣 GTZ、縦軸に学力 GTZ をとった時に、皆さんがどのタイプに当てはまるかを示したものです。

タイプ①が最も多く、「学習習慣が確立していないのに、学力が高い」タイプです。次に多いのがタイプ②で、「学習習慣が確立していないので、学力が身につけていない」タイプです。①②を合わせると、

半数以上の生徒が学習習慣を確立できていません。将来の選択肢を狭めないようにするためにも、早期に学習習慣を確立する必要があります。

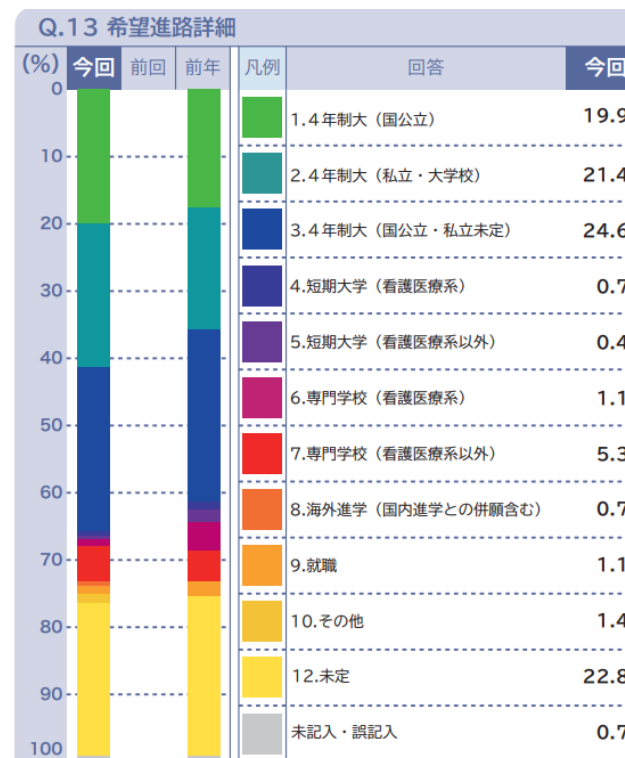
学習時間 学習時間は例年並み、ここから伸ばそう

1 年生の 4 月段階の学習習慣は阿倍高生の先輩とほとんど変わりません。しかし、ここから減少していくのが阿倍高生の特徴（弱点？）です。家庭学習時間を減らさないように 77 期生からはスタディサプリを一括導入しました。この結果が 1 年後、学習時間にどうつながるのか楽しみです。



参考値は、国公立大（GTZ：A レベル）に合格した人の平均です。大阪公立大や関関同立を目標にする人は、平日 1 時間半、休日 2 時間半の学習時間を目標にしましょう。5 月 30 日からはスタディサプリ到達度テストの連動課題配信が始まります。一人ひとりの弱点に応じて国数英の課題が毎週 3 つずつ配信されます。真面目に取り組むことで、どんどん弱点が減っていきます。この配信をこなすだけでも、学習時間は飛躍的に伸びます。

進路について 大学進学志向が高まっています。今後は学部も考えよう。



77 期生の特徴は、4 年制大学進学希望者が増加し、短大、専門学校希望者が減少したことです。また、国公立大学の希望者も増えています。

私大と国公立大学の入試の違いは今後、ゆっくりお伝えしますが、難関私大や国公立大は、入試日程が遅く、科目も多くなります。1 年生のうちは目標を高く、最後まで頑張る気持ちを持ち続けましょう。

学部でみると、農学系に興味のある人が昨年の 5 倍になっています。一番人気は、法学、経済学、社会学系で、全体の 1 割になります。まだ入学したばかりの 1 年生は、学部に関する知識が乏しく、3 分の 1 は未定と回答しています。2 学期には科目選択をしていきますので、先日の関大説明会、

9 月の分野別ガイダンスで学部についての理解を深め、進路を決定していきましょう。

（裏へ続く）

合格体験記

74 期の先輩たちが、受験を通して感じたこと、後輩へのアドバイスを残してくれています。懇談の時に配布される、「進路の手引き」の後ろのページにも掲載されていますが、ページの都合上、掲載できなかった分を、進路通信で紹介していきます。

関西大学 法学部 一般選抜

せっかくこういう機会を得たので、自分がやった事、やっておけば良かった事を紹介しようかなと思います。

まずは全科目を通して言えることですが、自分が目指す志望校の過去問を 1 回解いてみる事が大事です。当たり前ですが、大学によって問題の出し方が異なるので、問題傾向を頭に入れるために必ずやるようにして下さい。

英語は早い段階で単語帳 1 冊を完璧にすることを勧めます。遅くても 5 月までには覚えていた方が後々楽になります。(受験後半の過去問どんどんやっていく段階で少し苦しめられました。)あと、躓くのは長文かなと思いますが、自分は 300~400 語程度の中文を同じものを 10 回程度音読するのがいいかなと思います。これによって英語の返り読みが減らせるので、得点に直結します。

現代文は解き方を参考書で知ったり、先生に解き方を教えてもらったりした後は簡単な問題からやっていき、出来るのであればどんどん過去問に手を出していいと思います。

古典は英語同様に 300~600 程度の単語帳を 1 冊完璧に、そして文法を抑えれば基本読めるようになるので、後はいろんな古文を読んで行き、慣れれば得点源になるかなと思います。

日本史は学校の進度で行くと、必ず間に合わなくなるので夏休みまでに古代から現代までの通史をやっておいた方がいいです。そして 2、3 週すれば少しは頭に入っていると思うので、否定的な意見もあると思いますが、志望校の日本史の過去問をやりまくる事が個人的に必須でした。(自分は 1 ヶ月で過去問平均 5~6 割から 7~8 割に上げました。)

最後に日本史でも少し触れましたが、学校の授業の進度、内容だけでやろうとすると関関同立はおろか産近甲龍も行けるか怪しいかなと思います。なので、家や塾でやる自習時間を 1 番大事にして下さい。自分は塾に行かなかったので、いろんな参考書、勉強法を試すしかなく、今思えば無駄な時間が多かったなと思います。ですがそれでも関西大学に受かったので、今自分はそんな手の高いところに届くわけが無いと諦めようとしている人は思いとどまって、少しやってみようかなと挑戦して行って欲しいです。努力をすれば必ず報われる訳ではありませんが、

報われる可能性が限りなく高くなります。そして今この瞬間にも単語帳を開き、勉強しているライバルがいます。これを見た人が志望校に受かる手助けになれば自分も嬉しいです！頑張ってください！！